

《共通基礎科目 教養教育科目》

科目名	地域学習論				
担当者氏名	早川 淳				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期

《授業の概要》

地域環境が著しく変化し、地域への帰属意識も薄れている、一方で、グローバル化や少子・高齢化が進み、地域力が低下している、その地域の課題解決に向けた地域づくりや地域解決能力を高めるための学習支援を考察し、実習や地域学習に役立てる実践力を付けていく。進め方として、地域社会の学習支援や地域づくりへの専門性が求められるため、子育て支援、多文化共生支援など事例研究を中心に学習する。

《授業の到達目標》

目標：地域づくりに求められる学習や支援のあり方、そして、ネットワークの形成について学び専門性を身につける。
 テーマ：地域力や地域資源の活用方法を学習する

《成績評価の方法》

平常点（授業態度及び授業への取り組み）30% 課題（個人別・グループ別）30% 期末作品課題（教材）40%

《テキスト》

授業に対応してプリントを配布します。

《参考図書》

佐藤一子 地域学習の創造：地域再生への学びを拓く 東京大学出版会

《授業時間外学習》

予習として：子どもが成長する過程で大切なものは家庭・学校・地域である。そのなかでも教育力の低下は地域力の低下につながるともいわれているため、地域力の再生が大事である。各都道府県では地域再生に向けて参考になるものが考案されている。それらの情報を収集し、資料をつくり発表する。復習として：資料をまとめ、考察していく。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	授業の総括と地域学習論	地域環境の変化は地域力や教育力の低下の原因ともなっている。子どもの成長にとっては家庭、学校、地域が大切である。子どもが成長できる地域の概要を学習していく
2	地域自立支援について	各都市は地域の特質があり、住民も地域の影響を受ける。地域の自立支援には特質を出していくことも課題でもある、それについて学習する。
3	地方公共団体の種類と組織	地方公共団体の種類や組織について、また、どの意義や役割についても学習していく。
4	地域学習支援とは	各それぞれの地域には昔からの言い伝えや歴史がある、それについてどのような役割があるのかを参考文献などで研究していく。
5	地域における社会資源とその活用法	それぞれの地域には社会資源があり、公共の建物、文化、人間などである。地域の活性化にはどのように活用するかで決まるためこれらの活用について学習していく。
6	地域文化の振興と文化施設について	地域には昔から伝えられた文化が存在する、その文化を大事に育てるためにはどうしていくことが大切なのかをディスカッションを通じて検討していき、考察していく。
7	コミュニティ・メディアの活用	各地域にあるコミュニティに、地域の住民をも巻き込み地域の活性化につながる事が出来るのかをメディアを利用しながら考察していく。
8	変化する地域（地方）	地方は特に環境の変化がはげしい、それに生き残るのには施策や決め事が必要である。地域住民は何かが必要であるのかを学んでいく。
9	変化する地域（大都市）	大都市は人が集まり、活性化は進んでいるがさまざまな問題も生じている。そのなかでもどのような施策が住民にとって必要なのかを学習していく。
10	グループ別事例研究 1	日本の都道府県のなかで各グループが一都市を選択し、その都市の特徴、教育問題、特徴ある地域の文化を調べる。
11	グループ別事例研究	日本の市町村のなかで各グループが一市町村を選択し、その都市の特徴、教育問題、特徴ある地域の文化を調べる。
12	グループ別発表 1	各グループが自分達の調べた都道府県の資料を発表し、それについてディスカッションしてまとめるていく。
13	グループ別発表 1	各グループが自分達の調べた市町村の資料を発表し、それについてディスカッションしてまとめるていく。
14	発表の考察とディスカッション	以上の資料から教育問題を取り上げ、検討して、考察していく。
15	地域学習論のまとめと課題	地域学習論のまとめと課題について学習する。